

予算特別委員会は、会議日程に従い、12月8日に審査が行われたところであります。

審査に当たっては、各会計補正予算の概要について担当課長から説明を受けた後、2名の委員の総括質疑が行われ、終了後に細部審査を行ったところでありますが、その経過につきましては、議長を除く全員で構成する委員会でありますので、後刻会議録によりご承知くださいますようお願いを申し上げ、審査の結果のみご報告を申し上げます。

議案第74号 令和4年度長井市一般会計補正予算第10号、議案第75号 令和4年度長井市水道事業会計補正予算第2号及び議案第76号 令和4年度長井市下水道事業会計補正予算第3号の補正予算3件につきましては、いずれも全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が審査の結果でありますが、当局におかれましては、審査の過程で委員各位より出されました質疑、意見等については十分に意を用いられ、事務の執行に当たられますようお願い申し上げます、予算特別委員会の審査の報告を終わります。

○浅野敏明議長 委員長の報告が終わりました。

ただいまの報告に対し、ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

まず、日程第9、議案第74号 令和4年度長井市一般会計補正予算第10号の1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

日程第9、議案第74号 令和4年度長井市一般会計補正予算第10号の1件について、予算特別委員長の報告は原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第74号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第10、議案第75号 令和4年度長井市水道事業会計補正予算第2号及び日程第11、議案第76号 令和4年度長井市下水道事業会計補正予算第3号の2件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、一括して採決いたします。

日程第10、議案第75号及び日程第11、議案第76号の2件について、予算特別委員長の報告はいずれも原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第75号及び議案第76号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

委員会付託の省略について

○浅野敏明議長 お諮りいたします。

これから上程いたします議案は、委員会付託を省略し、全員でご審議願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

日程第12 議案第78号 長井市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定について外6件

○浅野敏明議長 それでは、日程第12、議案第78号 長井市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定についてから、日程第18、議案第83号 令和4年度長井市下水道事業会計補正予算第4号までの7件を一括議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 おはようございます。

提案説明を申し上げます。

議案第78号 長井市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定についてご説明申し上げます。

本案は、国、県の給与改定措置を踏まえ、給料表の改定等所要の改正をいたすため、ご提案申し上げるものでございます。

議案第77号 長井市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてご説明申し上げます。

本案は、市長、副市長、教育長及び議会の議員に対して支給する期末手当の支給割合を改定いたすため、ご提案申し上げるものでございます。

続きまして、議案第79号 令和4年度長井市一般会計補正予算第11号についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に4,958万4,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ200億1,001万円といたすものでございます。

このたびの補正は、歳出におきまして、議案第77号 長井市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正及び議案第78号 長井市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正に伴う人件費の所要見込額を関係する各款項目に計上するほか、新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金事業及び母子保健事業において必要な事業費を追加計上いたすものでございます。

歳入におきましては、国、県支出金を計上し、不足する財源に財政調整基金繰入金をもって充てるものでございます。

次に、議案第80号 令和4年度長井市訪問看護事業特別会計補正予算第2号についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に4万1,000円を追加いたしまして、予算の総額を歳入歳出それぞれ3,028万4,000円といたすものでございます。

議案第81号 令和4年度長井市介護保険特別会計補正予算第2号についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に3万9,000円を増額いたしまして、予算の総額を歳入歳出それぞれ33億7,050万8,000円といたすものでございます。

議案第80号及び議案第81号の特別会計の補正につきましては、議案第78号 長井市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正に伴う職員人件費の所要見込額を計上いたすもので、その充当財源として、一般会計繰入金等を増額いたすものでございます。

議案第82号 令和4年度長井市水道事業会計補正予算第3号についてご説明申し上げます。

補正の内容につきましては、第2条の収益的収入及び支出におきまして、議案第78号 長井市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正に伴い、支出の職員人件費を15万2,000円増額いたすものでございます。

第3条の資本的収入及び支出におきましても同様に、支出の建設改良費を7万5,000円増額いたすものでございます。

第4条につきましては、条文のとおり改めるものでございます。

議案第83号 令和4年度長井市下水道事業会計補正予算第4号についてご説明申し上げます。

補正の内容につきましては、第2条の収益的収入及び支出におきまして、議案第78号 長井市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正に伴い、支出の職員人件費を6万3,000円増額し、あわせて、収入の一般会計補助金を同額増額いたすものでございます。

第3条の資本的収入及び支出におきましても同様に、支出の建設改良費を24万9,000円増額し、あわせて、収入の一般会計補助金を同額増額いたすものでございます。

第4条から第5条につきましては、条文のとおり改めるものでございます。

以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明議長 提案者の説明が終わりました。

これから1件ごとに質疑、討論、採決を行います。

なお、申合せにより、委員会付託を省略して全員による審議の場合、当日提案議案の質疑につきましては、一問一答の方式により行うこととされております。質疑の時間は、1人当たり答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

まず、日程第12、議案第78号 長井市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定についての1件について、質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第78号について、討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第78号は、原案のとおり決するに賛成の

議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第78号は、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第13、議案第77号 長井市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての1件について、質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第77号について、討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第77号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第77号は、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第14、議案第79号 令和4年度長井市一般会計補正予算第11号の1件について、質疑を行います。ご質疑ございませんか。

14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 二、三点質問したいと思います。総務費、総務管理費の中の備品購入費2,110万8,000円についてお伺いいたします。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業ということで、備品購入費が上がっております。このことについては、過日の全員協議会で説明を受けたところでしたが、その中でエントランス周辺128万4,000円、図書館、子育て支援センター整備744万3,000円、交流ラウンジ整備1,238万1,000円というような数字が示されておりました。説明の中で空気清浄機、そ

れからサーモグラフィカメラ、アルコール噴霧器、それから抗菌仕様備品というような説明でございました。

図面も示されて、色分けで、私たちに説明がありました。何か漠然として、何にどのぐらいかかるのか、机やなんかは何脚で、どの程度かかるのかというような細かい、細かいというか、詳しいことが分かっておりません。どの程度のものなのか、それぞれの金額や仕様など、どの程度のものになるのかという明細というか、説明が欲しいと思っておりますので、いかがでしょうか。建設課長にお聞きいたします。

○浅野敏明議長 小林克人建設課長。

○小林克人建設課長 お答え申し上げます。

まず、このたびの補正でございますけれども、改めまして、ウィズコロナ下での感染症対応の強化を図ることを目的とする新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の趣旨に沿いまして、来年夏オープンいたします子育て応援施設、遊びと学びの交流施設「くるんと」につきまして、子供たちや子育て世帯がよりよい環境の下、安心して遊ぶことができるように、大勢の方が利用する施設出入口に検温器とアルコール噴霧器を設置するとともに、子育て支援活動センターの多目的室、一時預かりルーム、図書館の視聴覚室の部分に空気清浄機、抗菌仕様のテーブル、椅子等の必要な備品を購入するものでございます。

資料のほうということで、詳しい備品の金額等でございますけれども、エントランス周辺のほうにつきましては、サーモグラフィのカメラ2台ということで、約50万円を予定しているところでございます。アルコール噴霧器につきまして、エントランスのところに4台ということで、ここにつきましては2万円をまず見ているところでございます。あと、図書館、子育て世代活動支援センター整備の費用でございますが、744万3,000円ということで、ここに付きま

しては空気清浄機5台ほど予定をしております。大きさも様々ありまして、今見ているのは2万円から10万円程度、28畳から38畳とかいろいろ想定しておりますが、その程度のものを購入したいというふうに考えてございます。また、図書館の部分につきまして、会議用テーブル18台、椅子67脚、アクリルパネル38枚、ソファ5台、展示テーブル4台等、そのほか様々ございませけれども、抗菌仕様のものを購入するというところで、会議テーブルにつきましてもいろいろ、置く場所を見ながら、子供たちや子育て世帯が利用しやすい環境というふうなことを考慮して決めてまいりますけれども、8万円から10万円、椅子につきましては1万5,000円程度、アクリルパネルにつきましては1万4,000円程度を見ているところでございます。また、交流ラウンジ整備に関する費用でございますが、1,238万1,000円でございます。ここにつきましても、空気清浄機1台と、あと交流ラウンジですので、子供たちのソファもちょっとくつろぎやすい、楽しめる、そういった椅子ということで、3万円ほど、ソファにつきましては10万円ほど、テーブルも8万円ぐらいのものを想定しているところでございます。

3月に「くるんと」の建物のほうが出来上がりますので、できるだけ早めに配置いたしまして、またシミュレーションを行いまして、配置場所の検証を行うとともに、子育て世代がより利用しやすい環境にしてまいりたいというふうに準備しているところでございます。以上でございます。

○浅野敏明議長 14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 今課長のほうから、なるべく早く整備したいということでありましたが、8月の開業ということなものですから、今から備品の購入というものが必要なのかという思いがしますが、再度課長の答弁をお願いします。

○浅野敏明議長 小林克人建設課長。

○小林克人建設課長 お答え申し上げます。

先ほども申し上げましたけれども、建物のほうが3月に完成すると。その後、指定管理者とのいろいろ調整、あと8月の開業に向けまして様々調整する部分があります。あと家具の配置等につきましても、図面上ではこのようになっておりますけれども、動線を検証いたしまして、より利用しやすい状況にする必要がございますし、何よりも出入口付近につきましても、アルコール噴霧器や検温器の場所も含めて適正な場所を探る必要がございます。もう建物完成しますと、様々な調整も出てきますので、早め早めに対応しまして、万全な体制を取りまして、そこら辺も含めまして、市民の皆様にも早め早めに情報発信をしまして、ご利用いただける環境をつくっていききたいというふうに考えているところでございます。

○浅野敏明議長 14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 そうですね、全員協議会でも、ちょっと青木技監から説明ありましたが、基本的にはこの長井市役所も、それから「くるんと」も、今の新型コロナウイルスとかそういうウイルス対応の、換気もできるような空調施設になっているということです。そこに空気清浄機やなんかもさらに必要なかと。この市役所では空気清浄機などつけておりませんが、多くの市民が入り出ております。これで十分というような気もいたしますが、そういう点で空気清浄機というものをどういうふうにお考えなのか説明いただきたいと思っております。

金額的に見ると、あまり大きいものでなくて、10万円ぐらいまでということなもので、そんなに大きく、高性能というような感じではないんですけども、そういうものも今回整備するというようなことなもので、そういうものが必要なのかなとちょっと考えたところでしたけれども、その辺のお考えはいかがでしょうか。もう少し、整備

するなら大型で、機能もあるというようなもののほうがよろしいのではないのでしょうかね、2万円から10万円というようなことでは、ちょっと何か一般家庭用のような気がいたしますけれども、その辺のお考えはいかがでしょうか。

○浅野敏明議長 小林克人建設課長。

○小林克人建設課長 お答え申し上げます。

予定のものとしましては、一番高いもので10万円ぐらいのものを想定してございます。ただ、より安全に、子供たち、子育て世帯の皆様が、感染症の予防ということで、万全な体制でご利用いただきたいと。確かに庁舎も含めまして空気、換気の部分はございますけれども、新型コロナウイルスは今後どうなるかも分かりませんし、よりウイルス対策を徹底するというので整備するものでございます。ここにつきましても、これで足りないということであれば、またそこら辺も含めまして早めに整備いたしまして、より安全に、安心してご利用いただける「くるんと」にしてまいりたいというふうな考えでございます。

○浅野敏明議長 14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 今課長のほうから、より安全なものということの答弁をいただきました。子供たちや多くの方が出入りする、使用する、利用する施設でございますので、安全をさらに向上させるという意味では理解するところでございます。

一応今回この予算で予定しておりますが、さらに状況を見て、よりよいものにしていただきたいということを求めて、私の質問を終わります。

○浅野敏明議長 ほかにご質疑ございませんか。

13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 今回の補正の大きな案件について……。

○浅野敏明議長 マイクに近づけてお願いします。

○13番 小関秀一議員 出産・子育て応援事業、

これは国の制度にのっとったというふうなことで、歳入、国から3分の2、県、市で6分の1ずつ負担するというふうなことで、初めて実施、子育て世代、出産の応援にケアをされてきたというふうなことでは、歓迎すべき事業なわけがあります。

まず、少しお尋ねしますが、対象人数で、出産応援金が190人、子育て応援金が150人、いわゆるこれまで出産を終えられた方150人、あと、これから3月、来年の3月末までに予定をされる方というふうなことで40人、合計190人というふうに想定をされているということでもありますけども、非常に少子化というか、出生数が減っているという情報あるわけですが、長井市で現在、基準日いつだかも含めてですが、現在まで、令和4年度出生された子供、お子さんの数について、分かれば教えていただけますか。

○浅野敏明議長 どなたにでしょうか。健康推進担当課長でよろしいですか。

塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長。

○塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長 12月下旬までの出生見込みといたしまして、100名を見込んでおります。はっきりした数字は持ち合わせてないんですけども、100人前後を見込んでおります。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 100人、今まで見込みということで、1月だとすると、1月から3月の3か月間はどのぐらいの、これ予算を見ますと、40人を見込んでいるような表、査定というか、算定をされているようですけども、ほぼ生まれる予定の方については、妊婦さんの届出がされているものというふうに思いますんで、何人ぐらい想定されていますか。

○浅野敏明議長 塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長。

○塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長 出生数の見込みは50名ぐらいということで見込

んでおりまして、妊娠届出のほうの見込みを40名ということで見込んでおります。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 その10名の差というのは何、どういう理由なのかちょっと分からないのですが、説明をいただけますか。

○浅野敏明議長 塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長。

○塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長 今後生まれる1月から3月までの出生数については、今現在、母子手帳を交付している数を参考にして見込んでおります。あと、これから1月から母子手帳交付をする数につきましては、今までの年間の交付数から見て算定しております。以上です。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 ありがとうございます。大体分かりましたが、実数についてはともあれ、やっぱり出生数は1年間では非常に少なくなってきたのかなというようなことを今の報告で分かりました。

今回の想定の実業の人数からいうと、今の課長の説明は、大分人数が少ないような気がしますけれども、例えば、実数として双子とか三つ子さんとかというふうな方に母子手帳を発行するに当たっては、もう既に分かっている、人数もそういう判別というか、になっているのか。

あと、今後の来年度以降の実業にも関わるわけなので、例えば今回の10万円支給、出産されて子育てをされている方についても、双子さん、三つ子さん等の対応についてはどういう対応をされるのか、お尋ねをします。

○浅野敏明議長 塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長。

○塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長 母子手帳交付のときに、双子とか三つ子の場合には分かりますので、お1人当たり1冊ずつ母子手帳のほうを交付させていただいております。

あと、今回の子育て応援金につきましては、お子さんお1人当たり5万円ということで考えております。以上です。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 了解です。大変子育て、あと出産に関しての支援ということでは、今後とも続けてもらいたいというふうに思いますけれども、特にコロナ禍で、ここのアンケートが必須事項で、アンケートを取り、回答した方に支給するというふうな対応を取られているということであり、この3年ほどのコロナ禍にあっても、出産された方の保護者に面談をされたり、変わらずそういう対応をされているのか。あと、子育てガイドは、アプリなんかを使ってやっている方法で済ませているのか。その辺の必須条件として書かれているものですから、そこ確認させていただきたいというふうに思います。

○浅野敏明議長 塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長。

○塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長 妊娠届出のときですけれども、面談をしまして、アンケートを記入していただいております。子育てガイドなども利用しながら、今後の見通しを立てるような面談を今現在もやっております。

あと、出産した後ですけれども、乳児訪問ということで、各家庭に訪問させていただきまして、そのときもアンケートを記入していただいて、あと、子育てガイドに沿って、これからの見通しを立てていただいたり、あと、育児についての悩み事があれば、そこで相談を受けながら対応しているところでございます。それをまた継続していく予定です。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 今後ともよろしく願います。

あと、今回、先ほども、最初に冒頭で申し上げましたが、国の方針でこういう支援事業がスタートするというので、私は個人的には将来

ともに子育ての支援が続けばいいなという思いも込めてですが、国から長井市に支給の給付金が入り、子育ての方々に給付をするというふうな形式を取るわけです。実際には、現金、口座振込になるのかですが、あと、いろんな対応で、コロナ対応も含めて、ながいコインとか、いろいろな支援策の支給方法として取ってきたわけですが、そういう方法の模索は、各市町村ごとに現金なのか、ほかの方法なのかを判断しているのか悪いのか、課長に確認をします。

○浅野敏明議長 塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長。

○塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長 国といたしましては、市町村の判断で現金給付だったり、あと、ギフトということで、クーポンだったり、いろいろ、考えながら実施してくださいということで国のほうからは示されております。実際、給付を考えたときに、経済的支援のほうなんですけれども、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスに使えるような方法でということを示されてあります。実際に妊娠中に関係する品物を購入できるお店が市内にないということもありまして、妊娠中は妊婦健診や出産時の出産費に活用できるように現金給付が一番最適なのではないかということで考えたところです。

出産後についても、やはり市外のほうで育児用品などを購入する方が多いということもありまして、今回は現金ということで考えたところですけれども、これから検討していかなければならないなということでは考えております。以上です。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 今のところ、現金給付でというふうにお聞きをしました。回答の中でもあったように、市内に育児用品を買える店があんまりないということであれば、非常に残念なことでありますけれども、今回の事業について

は、以上のような進め方をするという事で確認をさせていただきました。以上で質問を終わります。

○浅野敏明議長 ほかにご質疑ございませんか。

9番、平 進介議員。

○9番 平 進介議員 今と同じところ、14ページの4、1、1の002母子保健事業の1,704万9,000円のところで、健康推進担当課長にちょっと確認させてください。今の答弁のところでちょっと確認したいというふうに思うのですが、出産応援金190人、子育て応援金150人というふうにお聞きをしているわけですが、この出産応援金は今年度出生者と妊娠されている方で190人分、子育て応援金は今年度出生する人に対して150人というふうにちょっと私自身は思っているわけですが、その辺のところを再度確認させていただきたいと思います。

○浅野敏明議長 塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長。

○塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長 子育て応援金のほうですけども、今年度出生数ということで150名で、出産応援金と子育て応援金両方の一括支給ということで10万円ということで見込んでおります。以上です。

○浅野敏明議長 9番、平 進介議員。

○9番 平 進介議員 そうすると、出産応援金と子育て応援金は、今年度生まれた150人に対して5万円、5万円ずつの10万円を支給するんだと。その40人、妊娠されている方への40人分の支給については、来年度出産予定なのかなというふうにちょっと私自身は受け取っているわけですが、その辺についてはいかがですか。

○浅野敏明議長 塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長。

○塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長 おっしゃるとおり、来年度出産予定の方です。以上です。

○浅野敏明議長 9番、平 進介議員。

○9番 平 進介議員 そうすると、今年度出生者数については、150人ぐらいというふうなことで見込んでいるということです。長井市の出生者数が年々減少しているということで、健康スポーツ課で毎年把握をしている「保健事業のすがた」、今年度、令和4年度版によりますと、長井市の出生者数については、平成22年が218人、平成30年が178人、令和元年、146人、令和2年、154人ということで、この10年ほどで60人ほど、約3割も減少しております、減少率はかなりのスピードとなっているようです。この間、新型コロナウイルス感染症の影響も多分にあるというふうに思われますが、持続可能な地方都市を標榜する長井市にとっては、ゆゆしきことだというふうに感じております。

ここで市長にお伺いしたいわけですが、長井市については、子育てと教育に力を入れているということで、来年には複合施設「くると」が完成して、若い人たちを含めた利用を期待しているところではありますけども、新年度に向けて何かこういう若い人向けの対策を考えていく必要があるのではないかとというふうに思うわけですが、いかがかということで、現時点で市長として考えておられるようなことがあれば、お聞きをしたいというふうに思います。

○浅野敏明議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答え申し上げます。

平議員からございましたように、3割もここ過去10年ぐらい減っているということでございますが、たしか11月に地元、山形新聞で、県内35市町村の出生数がどのぐらい減少しているかということの記事がございまして、どこの市町村もやはり4割、5割減っているということでございまして、唯一もう横ばいかやや減というのが東根市だったというふうに思っております。

西置賜の1市3町どういう状況かと申し上げますと、これは今年度、市の職員の皆さんとの意見交換会、あるいは西置賜行政組合の職員と

の意見交換会の中でもこのデータをお示ししながら、実はすごい勢いで今、人口が減っているけども、最も厳しいのはやっぱり赤ちゃんが生まれないことだと。その主たる原因というのは、若い世代の人たちがやはり地元じゃなくて、就職、あるいは進学等々で県外に出てしまって、ほとんど戻らないということによって減っていますと。私ども長井市の場合は、過去3年、令和3年、令和2年、令和元年、ここが大体140から150名前後ぐらいで何とか、コロナ禍のこの2年間でも少し減っておりますが、頑張っております。

ただ、西置賜地域のあるまちでは、昨年生まれた赤ちゃんが、人口が1万2,000人もいるのに36人、それから、人口が7,000人強であるのに16人、非常に厳しい状況だと。特にこれを何とかみんなで解決しなきゃいけないということでいろいろ意見交換をしたところでございますが、まず、長井市としては、若い人たちがなぜ長井市から、あるいは西置賜地域から県外に移ってしまうのかということで、ちょっと長くなって恐縮でございますが、やはり就きたい仕事がないというのがコロナ禍前の一貫した答えだったのですね。さらには給与の格差があり過ぎると。首都圏とか、あるいは仙台市とか、向こうに行くと、こちらと同じ同業種のところで働いても3割とか普通に違うということで、都会のほう、首都圏のほうへ行ってしまうと。

ただ、新型コロナウイルス感染症が蔓延してからは、少し若い人たちの感覚も変わってきたのかなというふうに思っております、それを如実に感じたのは、去年とおとし、今年も高校生の方に、長井工業高校先に長井市青少年育成市民会議のほうのお計らいで、ちょっとお話をする機会ありました。去年とおとしは長井南中学校、長井北中学校の3年生の皆さんにお話をさせていただいたんですが、その後、生徒の感想というのを校長先生の計らいで、300字

以内ぐらいでしたけども、全員の方の頂戴しました。それを見てびっくりしたのは、今までは自分は将来、長井市を離れて、都会で恐らくそのまま住み続けるのだらうと思っていただけけども、長井市では私たちのことも考えていろんな取組をしてくださっていると。特に非常にがっかりしていた長井市のいわゆる施設等々が非常に見劣りしていたのが、いろんな取組をしてくれているので、私たちも何か希望が持てるというような意見が実は結構ございまして、そこで、私は、例えば子育て世帯に対して経済的支援も必要なのですが、それだけではないと。若い世代にこの長井・西置賜をまだまだこれから誇れるような地域としてのそんな様々な取組を行っていくことが、これもこれで非常に重要だというふうに思っております、したがって、今進めております中心市街地の活性化とか、あるいは若い人たちにとってこれから必須となる例えばカーボンニュートラルに対して、私たちのまちはどんな取組をしているのか。あと、SDGsについてどんな考え方をしているのか。そしてまた、お年寄りだけの世帯が多くなっているわけですけども、それをお互い支え合うような、そういったまちづくりというのを若い世代、子育て世帯もちろんですが、しっかりと我々も説明をしながら、自分たちのまちに誇りを持ってもらえるような、そんな取組をしていくことが重要だと思っております。それらについては、ぜひ3月定例会のときに施政方針も含めて様々な政策の提案をさせていただきたいと思っておりますので、ぜひご指導、ご助言賜りますようお願いいたします。大変長くなりまして、申し訳ありません。以上です。

○浅野敏明議長 9番、平 進介議員。

○9番 平 進介議員 人口減少、若い人たちが県外に移る、就きたい職業がなかなかない、給与の格差があるというふうなことで、離れやすいというか、離れていく状況にあるというふう

なことでありますが、やっぱりそれでも頑張っ
て長井市に住んでいらっしゃる若い世代もある
わけでありますので、市長おっしゃるとおり、
この若い世代に誇れるまちづくりをしていかな
ければならないというふうに思っております。

近年、第3子、第4子を産んでいる若い人が
多くなっているのではないかなというふうにち
ょっと思ったりしているわけです。実際にどの
程度か実数は分かりませんが、そうした
3人目以降の子供を持つ子育て世帯に対しては、
もっと支援策を充実してもいいのではないかと
いうふうに私は思っております。例えば3人目
以降のゼロ歳児、2歳児までの保育料について
は原則無料、無償というふうになっているよう
ではありますけれども、ただ、子供の年齢が離
れている場合は対象にならないというふうな事
例もあるように聞いております。また、第3子
以降に限っての学校給食費の無償化とか、そう
したことも考えられるのではないかとというふう
に思っておりますけれども、その辺りについて
市長はどのように考えておられるのか、お聞き
をしたいと思います。

○浅野敏明議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 平 進介議員がおっしゃるよう
に、やはり首都圏辺りの世帯と比べますと、3
人、4人以上のお子さんがいらっしゃる家庭と
いうのは多いと思っております。大変これは誇
れることでありますし、そういった世帯に対し
て、あるいは、今、1人しかいないのだけでも、
これから、2人、3人、4人と子供を産み育て
たいというご夫婦に対して経済的支援というの
も確かにこれは考えていかなきゃいけないと思
っております。学校給食費の2人目以降は半額
とか、3人目から無償だとか、さらには様々な
支援策について、私ども長井市のほうでも、今、
様々なハード事業、やっぱり遅れて、平成のう
ちになかなかできなかったものですから、そう
いったところにお金を取られておりますが、や

がてこういったそういう多くのお子さんを産み
たいと思ってもらえるような、そういう経済的
支援策もしっかりと考えていかなければならな
いと思いますし、あとは、やはり子育て、それ
こそゼロ歳児から高校ぐらいまででしようかね、
それ全般にわたって都会にはない安心して産み
育てられることができるような制度の充実をい
ろいろ図ってまいりたいと思っておりますので、この
辺のところはぜひ平議員はじめ、議会の皆様か
らもご助言やら、ご提案などいただければとい
うふうに思います。ありがとうございます。

○浅野敏明議長 9番、平 進介議員。

○9番 平 進介議員 いろいろ答弁いただきま
した。まず、新年度の施政方針を期待申し上げ
たいというふうに思います。終わります。

○浅野敏明議長 ほかにご質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 質疑もないので、質疑を終結い
たします。

それでは、議案第79号について討論を行いま
す。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 意見もないので、討論を終結し、
採決いたします。

議案第79号は、原案のとおり決するに賛成の
議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第79号は、原案のとおり決定い
たしました。

次に、日程第15、議案第80号 令和4年度長
井市訪問看護事業特別会計補正予算第2号の1
件について質疑を行います。ご質疑ございませ
んか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 質疑もないので、質疑を終結い
たします。

それでは、議案第80号について討論を行いま

す。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第80号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第80号は、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第16、議案第81号 令和4年度長井市介護保険特別会計補正予算第2号の1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第81号について討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第81号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第81号は、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第17、議案第82号 令和4年度長井市水道事業会計補正予算第3号の1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第82号について討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第82号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第82号は、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第18、議案第83号 令和4年度長井市下水道事業会計補正予算第4号の1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第83号について討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第83号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第83号は、原案のとおり決定いたしました。

最後にお諮りいたします。本定例会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 異議なしと認めます。

よって、整理を要するものについては、その整理を議長に一任することに決定いたしました。

以上で本日の議事は全部終了いたしました。

令和4年12月市議会定例会を閉会するに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

今年は、昨年12月からの降雪により、大雪の正月を迎えました。1月の中旬で70センチを

超え、2月7日にピークの1メートル7センチを記録しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えないままに、2022年、令和4年が明けました。16都県にまん延防止等重点措置が適用され、オミクロン株の市中感染が拡大し、多くの地域でオミクロン株への置き換わりが進みました。

2月に入っても感染者数が増加し、感染拡大第6波の中、まん延防止等重点措置の適用が34都道府県に及び、山形県においても連日3桁台の感染者が確認されました。3月でもオミクロン株の感染拡大が止まりませんでした。療養者数、重症者数及び死亡者数は減少に転じました。

4月に入り、ようやく新規感染者数が減少に転じたことで、5月は3年ぶりに行動制限がない大型連休となり、都道府県をまたいだ移動は感染拡大前まで戻り、各地の観光地は大勢の人でにぎわいました。ワクチン接種が順調に進んだことも、減少に転じたようです。私自身も8月に4回目を接種し、12月に5回目のオミクロン株対応のワクチン接種を受けさせていただきました。国は、新たな行動制限を行わず、重症化リスクのある高齢者等を守ることに重点を置いて、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る方針にシフトをしました。国の政策を受けて、山形県も行動制限を行わず、社会経済活動に方針を転換しました。これまで新型コロナウイルス感染拡大でイベントや会議、懇親会等が中止されていましたが、ようやく3年ぶりに開催されました。5月の黒獅子まつりはあいにくの小雨模様でしたが、3年ぶりに目抜き通りを舞い、大勢の市民の皆さんがおいでになりました。

8月3日に発生しました集中豪雨は、県内では初めての線状降水帯により大雨特別警報が発令され、全地域に避難指示や緊急安全確保発令など、これまで経験したことがない豪雨災害となり、住宅や農地などへの被害が発生しました。

また、豪雨被害で延期されていた最上川花火

大会が9月3日に開催されました。小雨模様でしたが、特に市内外から大勢の若い人が集まり、3年ぶりとなる花火大会を楽しんでいただきました。

8月15日に開催されました二十歳を祝う会は、民法の改正に伴い、成年年齢が18歳に引き下げられたことにより、3年ぶりに対面による開催となりました。

2月24日に開始されたロシアによるウクライナへの侵略には衝撃を受けました。常任理事国でもあるロシアが他国の私権を踏みこむ行為に唖然とし、国連の機能不全も露呈しました。収束するどころか、ウクライナの各地でロシア軍とウクライナ軍の戦闘が続き、大勢の市民が国外へ避難し、また、大勢の住民の犠牲者も連日発生しています。その影響で物流自体に影響が出、あらゆる品物の値段が上がっており、市民生活にもしわ寄せが押し寄せています。

令和4年5月に長井市はSDGs未来都市に選定されました。2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的な取組として、産業振興交流拠点施設タスの再整備による新産業の創出、デジタル技術を生かしたスマートシティ実現や事業性のあるバイオガス発電施設の建設など、新しい環境の在り方として、経済面、社会面、環境面で期待できる効果や環境、また地域づくり事業の実施などを提案しています。今後の取組に期待したいと思います。

気候変動による豪雨災害は全国各地で毎年発生しており、今後も想定を超える災害が発生することも予想されることから、官民挙げて脱炭素化に取り組む必要があります。我々議会としても、ようやく6月からタブレット端末を利用できる環境になりました。少し時間は必要ですが、脱炭素化の取組として、脱ペーパー化に向けた取組も必要だと思います。紙の消費は森林伐採につながることから、環境に配慮した姿勢や、大量の紙の資料を電子化することで得られ

るコスト削減の姿勢も示すことは、我々の社会的責任ではないでしょうか。いきなりペーパーレス化ではなく、できるところから取り組んでいくことも必要だと思います。

本市における大型公共事業が昨年に引き続き実施されています。公立置賜長井病院は4月に新病院竣工式が行われ、来春のグランドオープンに向けて順調に工事が進められています。また、多機能型図書館と子育て世代活動支援センター合築の公共複合施設、遊びと学びの交流施設の建設は、国土交通省に係る都市構造再編集中支援事業の施策として令和元年度から5年間の都市再生整備計画に基づき着手され、グンゼ株式会社やグンゼ開発株式会社と長井市における官民連携事業で、来年7月完成に向けて順調に進められています。昨年完成した長井駅と合築の新市庁舎とともに、本市のシンボル施設として、また中心市街地の拠点として、本市のにぎわいや活性化に結びつく施設となるようご期待を申し上げます。

今年の市議会においては、一般質問を中心に活発な質疑が行われました。3月定例会では、一般質問者が15名で、施政方針や新年度予算への質問など活発な質疑が行われました。6月定例会では、一般質問者が11名で、地域課題解決のための活発な質疑が行われました。9月定例会では、令和3年度の一般会計歳出決算が約196億6,400万円の内訳について、決算総括質疑で5名の議員が質疑を行われました。一般質問者は14名で、それぞれ市政の課題について活発な質疑が行われました。

本定例会においても、一般質問者が10名で、市政の課題について活発な質疑が行われました。質疑における答弁においては、市長をはじめ、管理職の皆様より丁寧かつ明瞭な答弁がありましたが、それぞれの議員からの意見や提案については十分に意を用いられ、市政に反映されるようお願いいたします。

市議会議員は、市長とともに、市民の皆さんから負託を受けて本市を支える二元代表制の下、車の両輪に例えられます。提案された案件の議決機関として、また、市民の皆様の要望や意見を市政に反映させるための重要な役割を担っています。長井市の発展のため、市長とともに両輪で本市が抱える様々な課題を解決し、安心・安全で住みよいまちづくりを進めていかなければならないと思います。

11月の市長選挙におきまして、内谷重治市長が5期目の当選を果たされました。心よりお祝いを申し上げます。そして、今後の持続可能な市政運営にご期待を申し上げます。

結びになりますが、来年、2023年、令和5年のえと、十干十二支はみずのとうで、冬の門が開き、飛び出るという意味があり、これまでの努力が花開き、実り始めることという縁起のよさを表しているそうです。本市もみずのとう年にあやかり、来年はコロナ禍が収束し、本市の魅力さをさらに伸ばし、活性化が図られ、活力がみなぎるまちとなるようご祈念を申し上げます。お礼のご挨拶とさせていただきます。

今年1年間、大変ご苦労さまでございました。そして、皆様のご協力に心からお礼を申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

閉 会

○浅野敏明議長 これをもって令和4年12月長井市議会定例会を閉会いたします。ご協力、誠にありがとうございました。

午前11時42分 閉会

会議録署名議員

議長 浅野 敏 明

4 番 鈴木 裕

5 番 竹 田 陽 一

6 番 金 子 豊 美